

E26系 NV350 プレミアムGX標準専用 ベースバー取付説明書



この度は、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。製品の仕様につきましては、十分に気を付けておりますが、誤った使い方をしますと本来の性能を十分に発揮できなったり、事故やケガの原因となる可能性があります。ご使用前に取付説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見ることできるように、大切に保管してください。

この取付説明書は、オプションパーツを装着するために必要なベースバーの取付説明書になります。オプションパーツの組み立ての前に必ずこちらの取付説明書を読み、ベースバーを取り付けた後に、同梱のオプションパーツの取扱説明書を参照して取付作業を進めてください。

適合車種	年式
E26系NV350 プレミアムGX標準	2012.6~

※2019年12月現在

※本製品はE26系 NV350 プレミアムGX標準専用です。

他の取付穴や他のグレードには取り付けできません。適合車種は左記を確認してください。

※本製品の取り付けには、専門知識が必要です。無理な取り付けは避け、カーディーラーまたはカー用品専門店等へ依頼してください。その際の工賃・その他費用請求はお受けできません。万一、本製品の不具合発生等で取り付け・取りはずし等が必要になった場合も同様です。自分で作業を行なう場合は自己責任で行なってください。

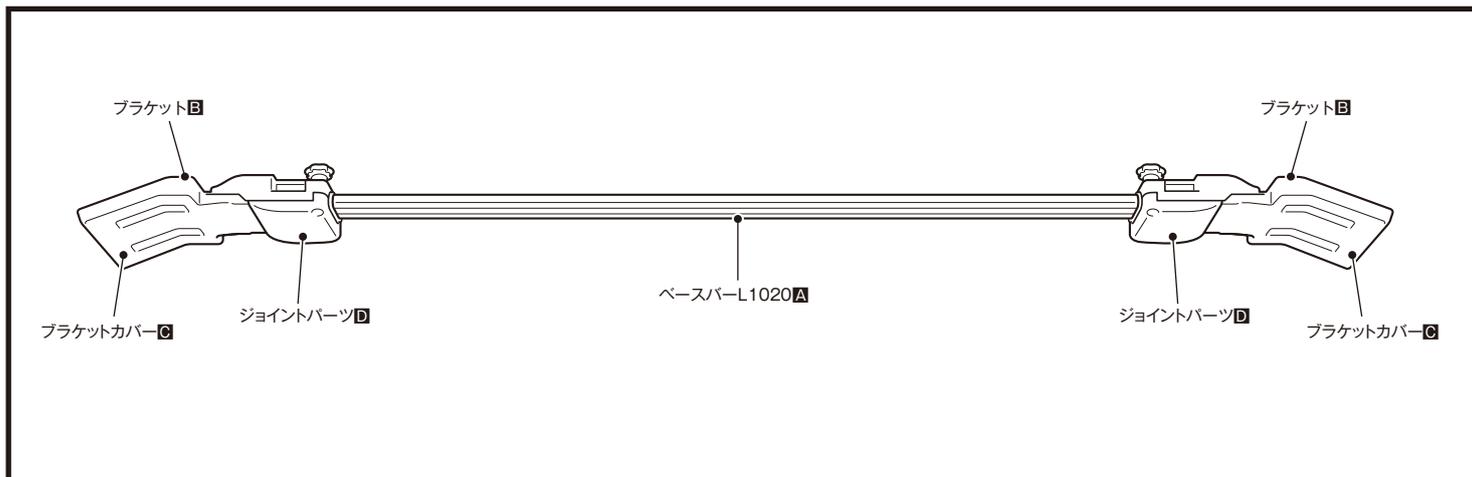
※必ず安全な場所に停車して作業を行なってください。

※取り付け前にすべての部品が揃っているか確認してから取付作業を行なってください。

1. 部品内容

A	ベースバー-L1020	B	ブラケット	C	ブラケットカバー
D	ジョイントパーツ	E	セムス小ネジ (M6×15)	F	セムス小ネジ (M5×15)

2. 取付概要



3. 必要工具 別途ご用意ください。

※必要な道具の使用法や注意事項を必ず確認して使用してください。

・プラスドライバー ・マイナスドライバー(クリップはずし) ・マスキングテープ ・養生テープ

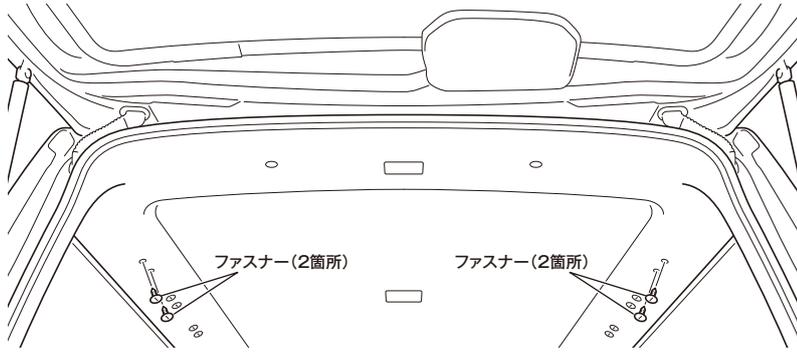


・ネジ穴や車両側が破損する場合がありますので電動ドライバーを使用してのネジ締めはしないでください。

注意

4. 取付方法

1 ルーフライニング(天井内装)のファスナーを取りはずします。



①車両後方のファスナーをマイナスドライバー(またはコイン)等で取りはずします。(4箇所)

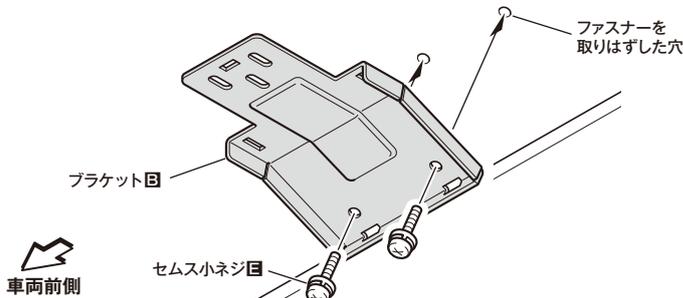
※傷付き防止のため、要所を養生テープで保護してください。

※ファスナーは左に回して取りはずしてください。

※取りはずしたファスナーは使用しませんので、紛失しないように保管してください。

②～③の工程は右側の説明をしています。反対側も同様に作業してください。

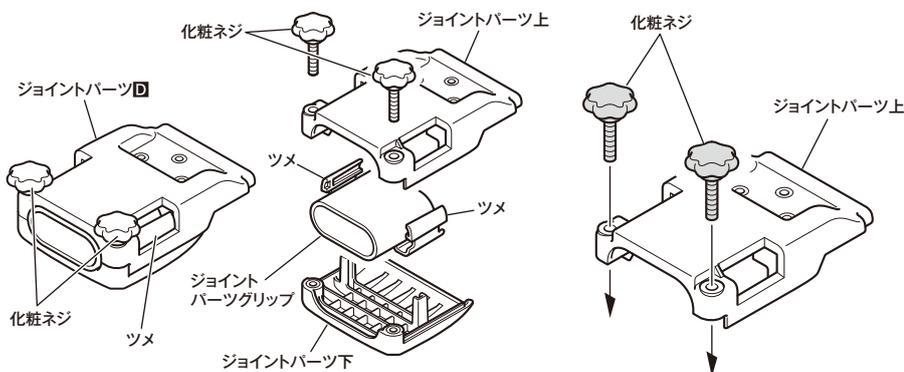
2 ブラケット回を取り付けます。



①ブラケット回を、ファスナーの取りはずした穴にセムス小ネジ回で取り付けます。プラスドライバーでしっかりと締めて固定してください(2箇所)。(反対側も同じ)

※傷付き防止のため、要所を養生テープで保護してください。

3 ジョイントパーツ回をブラケット回に固定します。

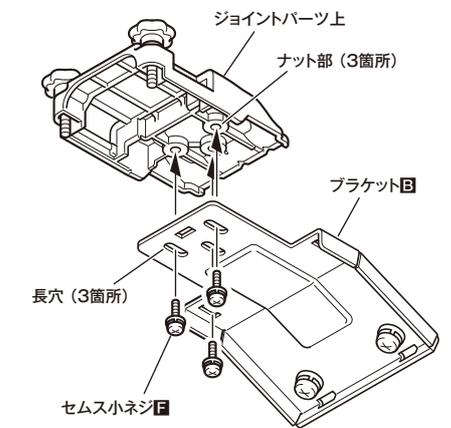


①ジョイントパーツ回から化粧ネジをはずしてパーツを別々にします。

※ジョイントパーツグリップはツメを押し込むと取りはずすことができます。

②ジョイントパーツ上に化粧ネジを挿し込みます。

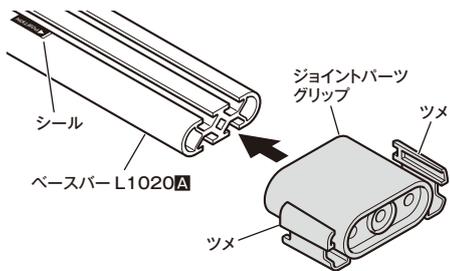
※後の工程では、化粧ネジを取り付けできなくなります。挿し込み忘れのないよう注意してください。注意



③ジョイントパーツ上の3箇所のナット部とブラケット回の3箇所の長穴を合わせてセムス小ネジ回を挿し込み、プラスドライバーで仮固定します。(反対側も同じ)

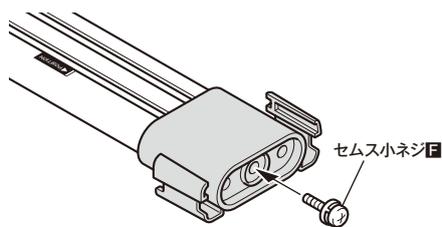
※後の工程で位置調節しますので、セムス小ネジが落ちない程度までにしてください。

4 ベースバーL1020Aの両端にジョイントパーツグリップを固定します。

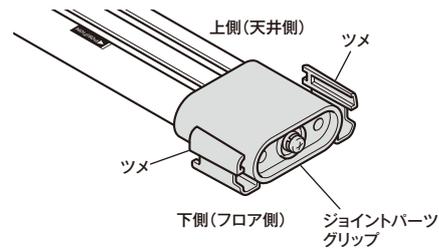


① ツメの向きを両端とも合わせ、ジョイントパーツグリップをベースバーL1020Aにかぶせます。

※ベースバーL1020Aのシール側にツメ側を合わせます。



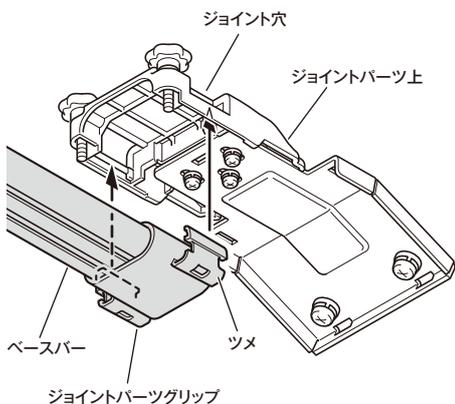
② セムス小ネジを挿し込みプラスドライバーで最後までしっかりと締めて固定します。



③ 両端とも固定し、ツメの向きが合っているか再度確認してください。

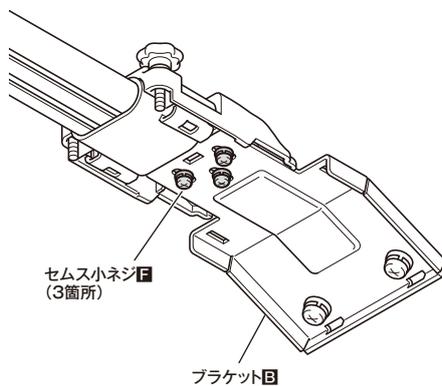
※ブラケットに取り付けの際、ツメ側が上側(天井側)になります。

5 4で組み付けたベースバーを2~3で組み付けたブラケット回に取り付けます。

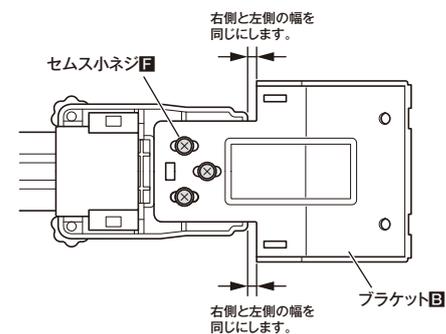


① 左右のジョイントパーツ上のジョイント穴にベースバー両端のジョイントパーツグリップ(向きに注意します。【取付方法4-③参照】)のツメを合わせてカチッとロックが掛かるまではめ込みます。

注意 手や指を挟まないように注意してください。



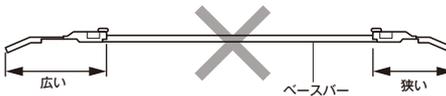
② 左右のブラケット回に対してベースバーの位置が中心にくるように調節し、仮固定していたセムス小ネジ(3箇所)をプラスドライバーで最後までしっかりと締めて固定します。



左右のブラケットに対してベースバーが中心にきている

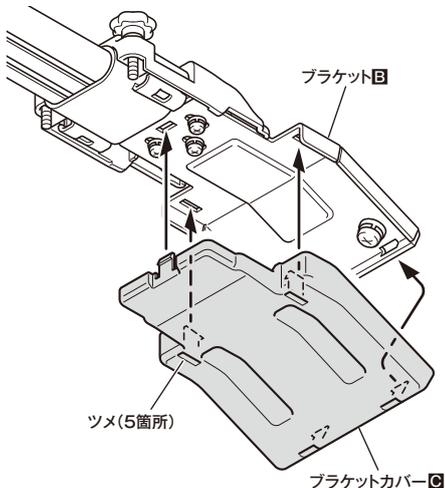


左右のブラケットに対してベースバーが中心ではない



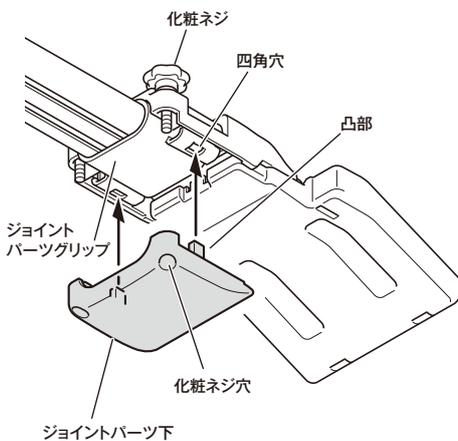
※ブラケットの長穴に対するセムス小ネジの位置を左右で均等にするを目安になります。

6 ブラケットカバーをブラケットにかぶせます。



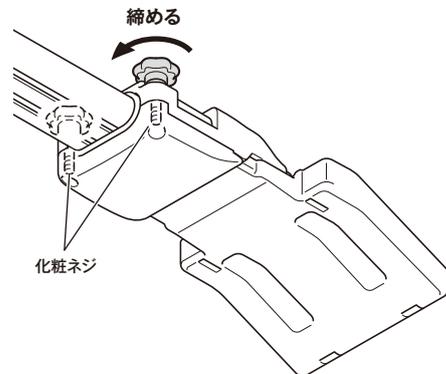
① ブラケットカバーのツメ(5箇所)を指で押し、パチッとブラケット回にはめ込みます。

※ツメが掛かる場所をしっかりと押し込んでください。



② ジョイントパーツ下を化粧ネジと化粧ネジ穴位置・四角穴と凸部の位置を合わせ、下からはめ込みます。

※ジョイントパーツ下はジョイントパーツグリップの落下防止になっていますので、必ず取り付けてください。
※ジョイントパーツ下を取り付けられない状態で走行しないでください。



③ 化粧ネジを締めて固定します。

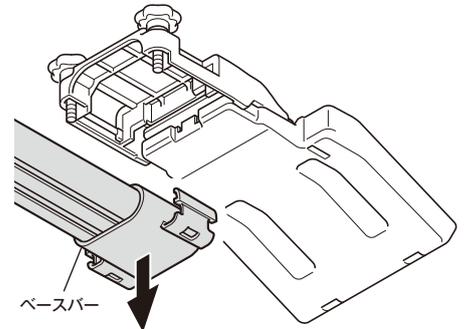
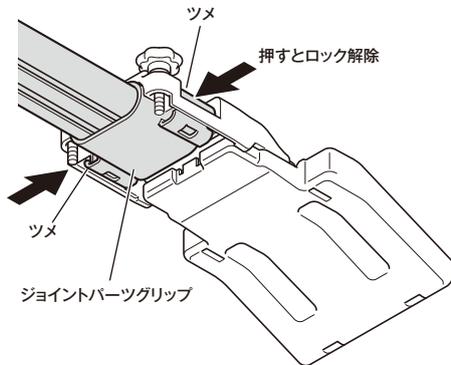
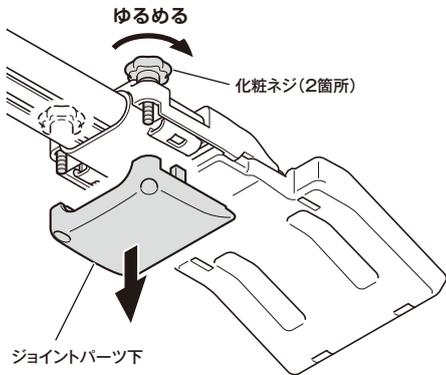
5. ベースバー脱着方法

ここでは右側の説明をしています。反対側も同様に作業してください。

取りはずし方法



・手や指を挟まないように注意してください。
・ベースバーを落とさないようにしっかりと手で持ちながら、取りはずしてください。



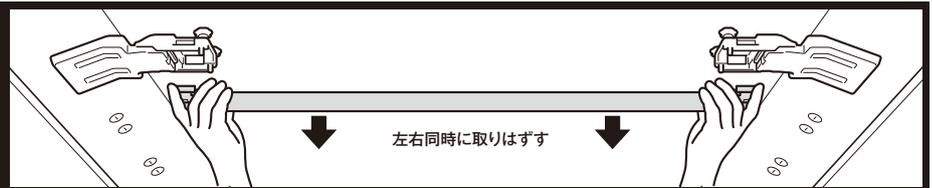
①化粧ネジをゆるめ、ジョイントパーツ下を取りはずします。(反対側も同じ)

②ベースバー両端のジョイントパーツグリップのツメを押してロックを解除し、ベースバーを取りはずします。

※ベースバーを取りはずした後、①で取りはずしたジョイントパーツ下を元に戻してください。

ベースバー取りはずしイメージ

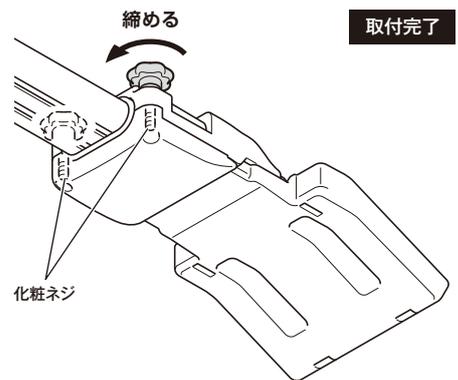
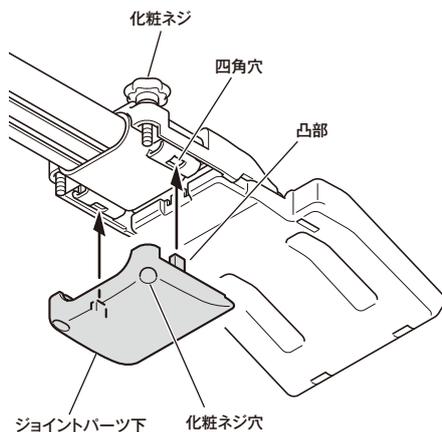
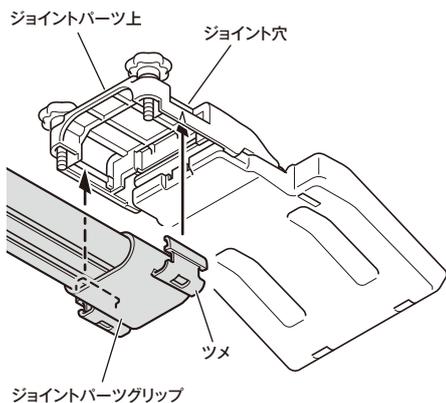
図のように両手でベースバーを支えて、ツメを押しながら取りはずすと簡単に取りはずせます。



取付方法



・手や指を挟まないように注意してください。
・ベースバーを落とさないようにしっかりと手で持ちながら、取り付けてください。



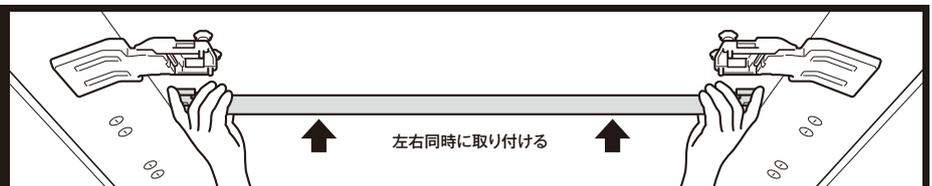
取付完了

①ジョイントパーツ下がはずれている状態で、ベースバーを持ち上げ、左右のジョイントパーツ上のジョイント穴にベースバー両端のジョイントパーツグリップのツメを合わせてカチッとロックが掛かるまではめ込みます。

②ジョイントパーツ下を化粧ネジと化粧ネジ穴位置・四角穴と凸部の位置を合わせ、下からはめ込みます。化粧ネジを締めて固定します。(反対側も同じ)

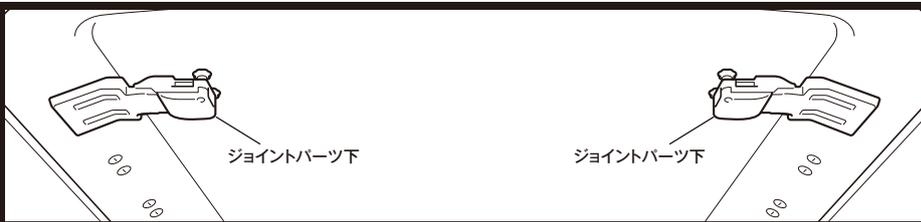
ベースバー取付イメージ

図のように両手でベースバーを持ち上げ、ジョイントパーツ上を押さえながらツメをはめると、簡単に取付けできます。





ベースバーやオプションパーツの
取り付けをしない時は、必ずジョイント
パーツ下を取り付けてください。



6. お手入れ方法

・本製品が汚れた場合は、水を含ませて固く絞った布で拭いてください。



・ベンジン・シンナー・アルコール・塩素系の溶剤類を使用してお手入れはおやめください。

注意

ベースバー取付完了イメージ

※走行する度に、ネジのゆるみがないか確認してください。ゆるんでいる場合は増し締めしてください。



⚠ 警告 ご使用前に必ずお読みください。

- ・走行前に必ず、各固定箇所のゆるみがないか等、ベースバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- ・走行中、安全のため絶対に本製品の脱着等はしないでください。

⚠ 注意 ご使用前に必ずお読みください。

- ・用途以外の目的で使用しないでください。
- ・本製品は金属を使用していますので、炎天下の車内の熱等により、金属部分が熱くなる場合があります。
- ・取りはずしたファスナー(4個)は幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ・ベースバーにぶら下がったり、無理な力を加えたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・振動により、ベースバーの固定がゆるむ場合があります。乗車の度にしっかりと固定されているか確認してください。
- ・本製品は天井のハウジング(内装)に直接固定する商品です。取りはずした後に車両側に変形・損傷・取付跡が残る場合があります。
- ・走行中異常があった場合はただちに使用を中止してください。
- ・本製品には鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。
- ・使用状況や経年変化等により本製品に変色・変形・劣化等が発生する場合があります。



梶屋ヤック株式会社

〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地
TEL 0564-24-2421・FAX 0564-24-2827
URL <https://www.yacjp.co.jp>

商品に関するお問い合わせ先
▶お客様相談室 0564-66-0773(直通)
土日祝・特定日除く 9:30~12:00/13:00~17:30

U-CA1F E26系 NV350 プレミアムGX標準専用

スマートロッドホルダー 5本用 取扱説明書

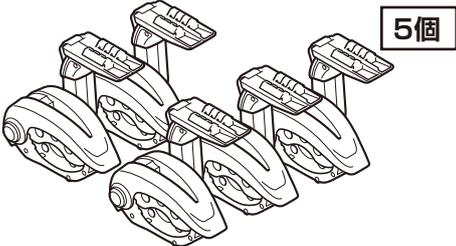
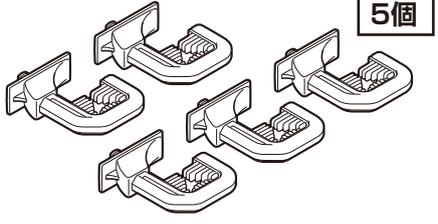
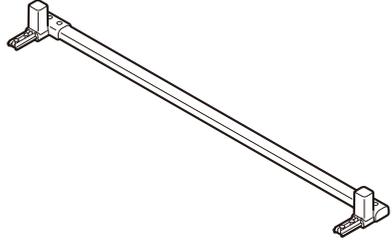
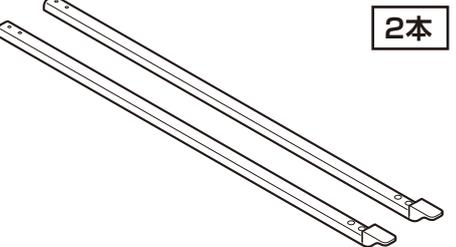
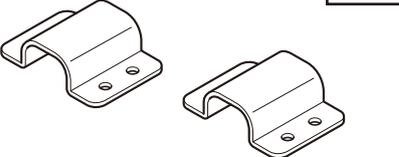
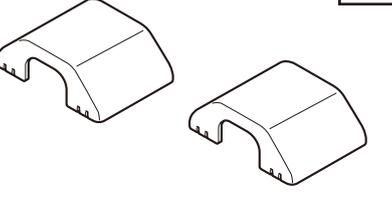
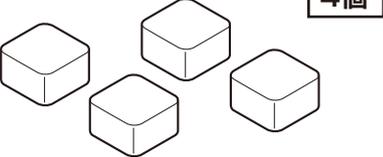
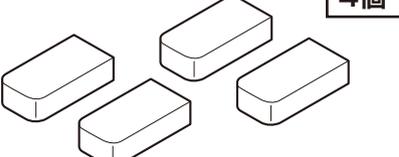
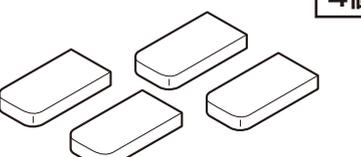
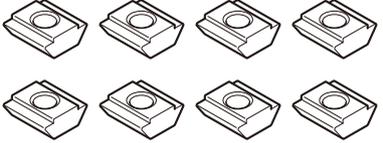
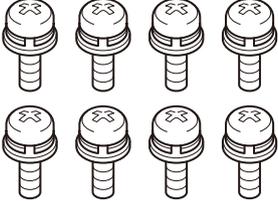


この度は、**VISOA** シリーズ「スマートロッドホルダー5本用」をお買い上げいただきましてありがとうございます。製品の仕様につきましては、十分に気を付けておりますが、誤った使い方をしますと本来の性能を十分に発揮できなかつたり、事故やケガの原因となる可能性があります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見ることのできるように、大切に保管してください。

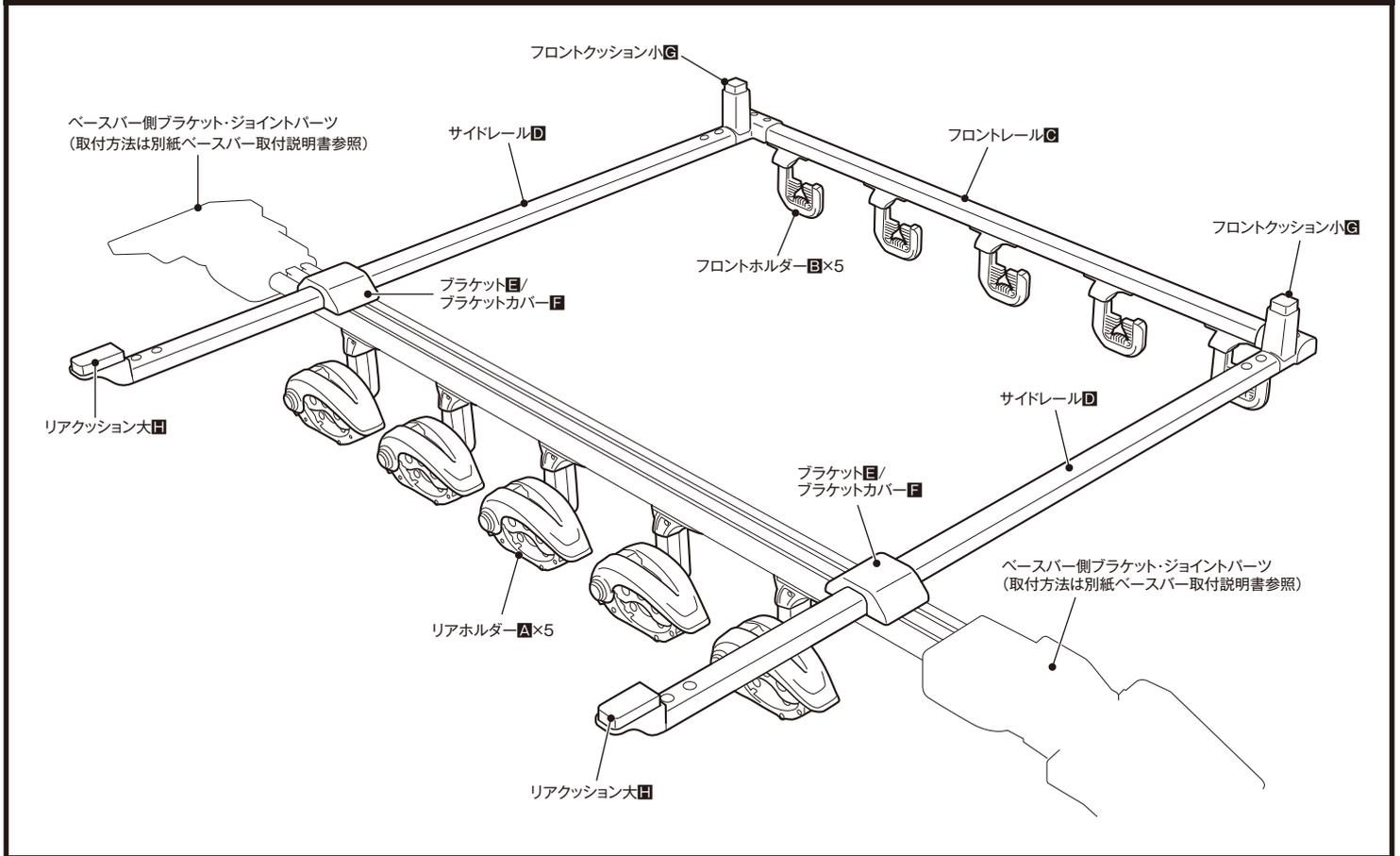
この取扱説明書は、ロッドホルダーの取扱説明書になります。ベースバーの組付方法は同梱のベースバー取付説明書を読み、必ずベースバーを装着した後に取付作業を進めてください。

※本製品の取り扱いには、専門知識が必要です。無理な取り扱いは避け、カーディーラーまたはカー用品専門店等へ依頼してください。その際の工賃・その他費用請求はお受けできません。万一、本製品の不具合発生等で取り付け・取りはずし等が必要になった場合も同様です。自分で作業を行なう場合は自己責任で行なってください。
 ※必ず安全な場所に停車して作業を行なってください。
 ※取り付け前に全ての部品が揃っているか確認してから取付作業を行なってください。

1. 部品内容

<p>A リアホルダー</p>  <p>5個</p>	<p>B フロントホルダー</p>  <p>5個</p>	<p>C フロントレール</p> 
<p>D サイドレール</p>  <p>2本</p>	<p>E ブラケット</p>  <p>2個</p>	<p>F ブラケットカバー</p>  <p>2個</p>
<p>G フロントクッション小</p>  <p>4個</p> <p>※本製品の取り付けには2個必要です。残りの2個は予備になります。</p>	<p>H リアクッション大</p>  <p>4個</p> <p>※本製品の取り付けには2個必要です。残りの2個は予備になります。</p>	<p>I サイズ調節リアクッション大</p>  <p>4個</p> <p>※必要に応じて適宜使用します。</p>
<p>J タッピングネジ (M4×8)</p>  <p>4本</p>	<p>K レール用ナット</p>  <p>8個</p>	<p>L レール用小ネジ (M5×10)</p>  <p>8本</p>

2. 取付概要



3. 必要工具 別途ご用意ください。

※必要な道具の使用方法や注意事項を必ず確認して使用してください。

・プラスドライバー ・マイナスドライバー(クリップはずし) ・養生テープ ・保護メガネ ・保護手袋等

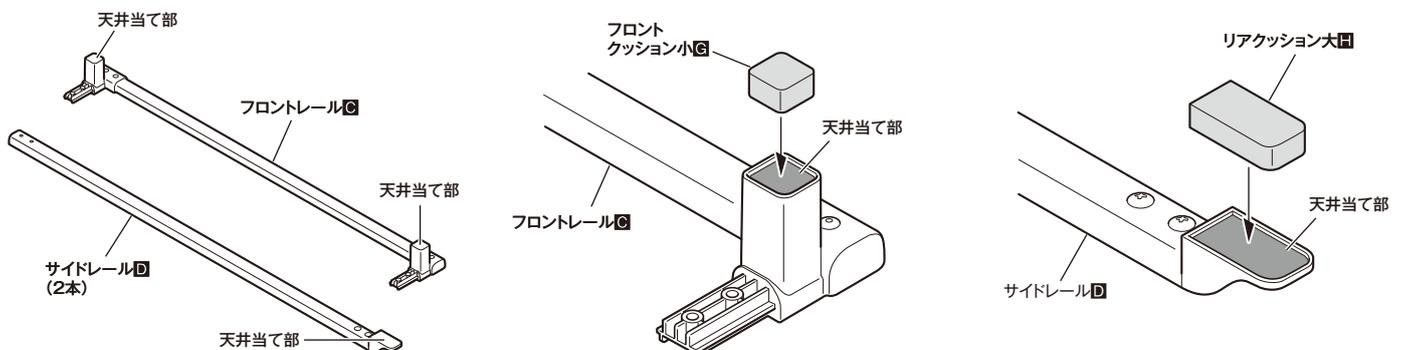


・ネジ穴や車両側が破損する場合がありますので電動ドライバーを使用してのネジ締めはしないでください。

注意

4. ロッドホルダーベース組立方法

① フロントレールとサイドレールの天井当て部にクッションを貼り付けます。



① フロントレールとサイドレールの天井当て部にクッションを貼り付けます。

② フロントレールの左右の天井当て部の形状に合わせて、フロントクッション小を貼り付けます。(2箇所)

③ 2本のサイドレールの天井当て部の形状に合わせて、リアクッション大を貼り付けます。(2箇所)

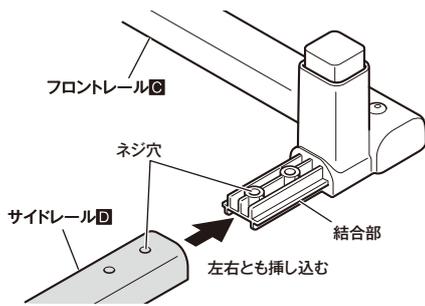


注意

・クッション貼付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等をきれいに拭き取ってから貼り付けてください。
 ・クッションの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けたらしないよう注意してください。
 ・クッションの貼り直しはおやめください。
 ・クッションの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまでは本製品に強い力を加えたり、使用したりしないでください。

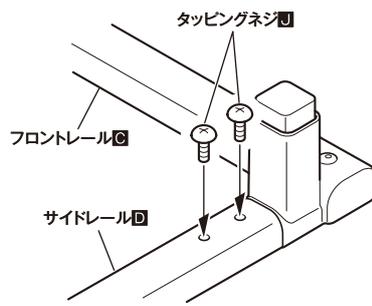
※車両へ取り付けの際に天井当てが弱く、ガタつく場合は、サイズ調節用リアクッション大をリアクッション大に合わせて貼り付けてください。5.車両側ジョイントパーツへのロッドホルダーベース取付方法②参照。

② フロントレールとサイドレールを組み付け、レールフレームを完成させます。

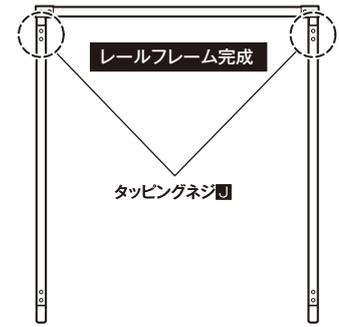


① フロントレールの結合部をサイドレールに挿し込みます。(反対側も同じ)

※結合部のネジ穴2箇所とサイドレールのネジ穴2箇所の位置が重なるようにしっかりと奥まで挿し込んでください。

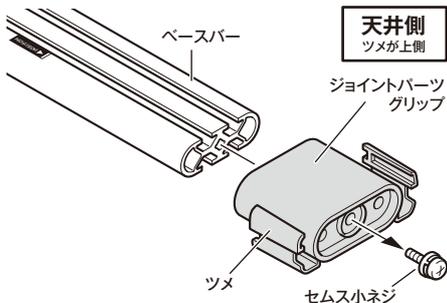


② ①で連結させたフロントレールの結合部とサイドレールの2箇所のネジ穴にタッピングネジを挿し込み、プラスドライバーでしっかりと締めて固定します。(反対側も同じ)



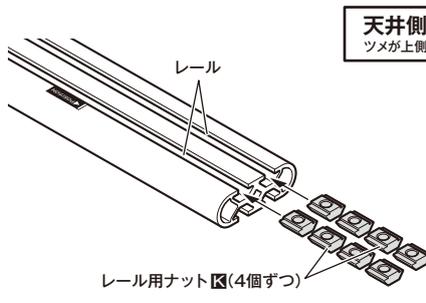
③ 左側2箇所、右側2箇所のタッピングネジがしっかりと固定されているか確認し、レールフレームの完成です。

③ ベースバーをジョイントパーツから取りはずし、レールフレームをベースバーに取り付け、ベースフレームを完成させます。(別紙ベースバー取付説明書[5.ベースバー脱着方法]参照)



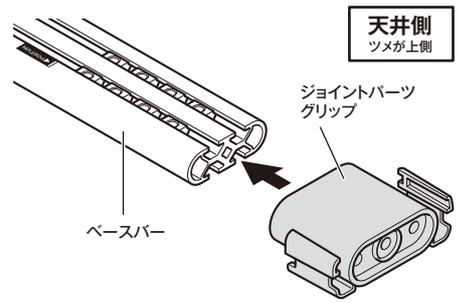
① ベースバーの片側のジョイントパーツグリップのセムス小ネジをプラスドライバーで取りはずします。

注意 取りはずしたセムス小ネジは、なくさないように注意してください。



② ベースバーの2箇所のレールにレール用ナット(8個)を1レールにつき、4個ずつ入れます。

※レール用ナットを入れるレールは必ず車両の天井側にくる方(ジョイントパーツグリップのツメがある方)に入れてください。
※レール用ナットには向きがあります。

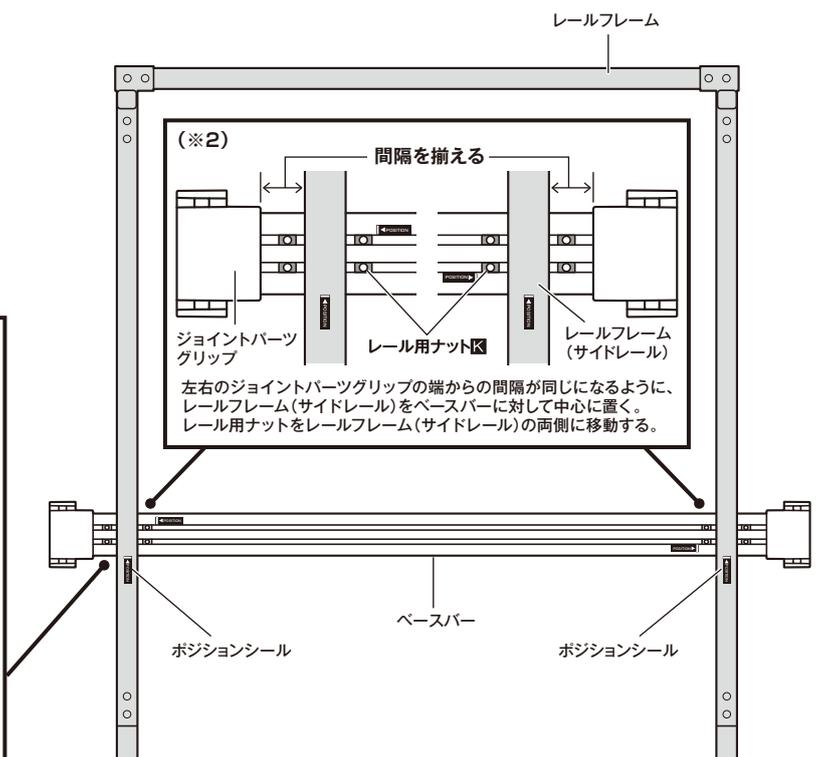
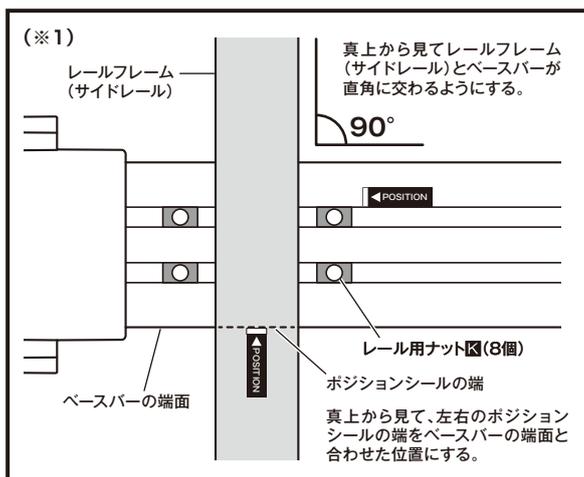


③ レール用ナット(8個)を入れたら、ジョイントパーツグリップを再度ベースバーに挿し込んでください。

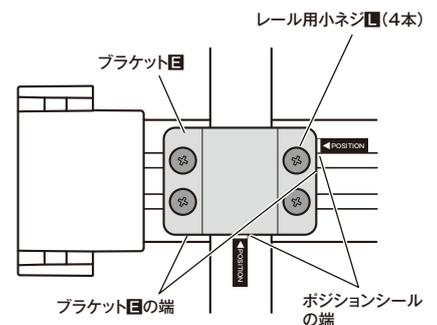
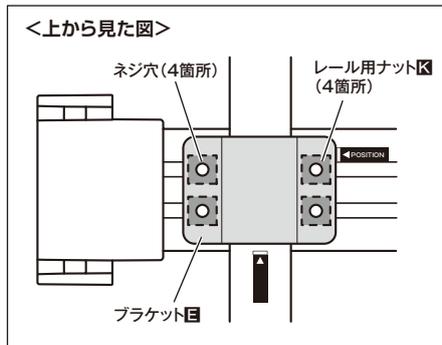
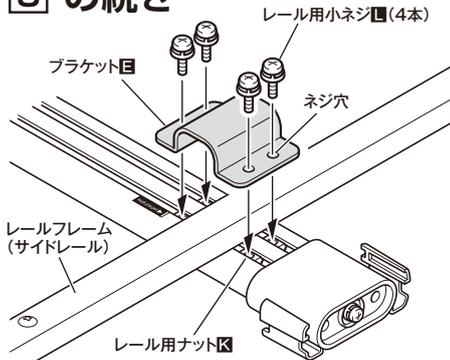
※後でジョイントパーツグリップをはずしますので、ネジは留めないでください。

④ レールフレームをベースバーの上ののせます。その際、レールフレーム(サイドレール)のポジションシールの端をベースバーの端面に合わせ、ベースバーに対してレールフレーム(サイドレール)が中心にくる事、レールフレーム(サイドレール)とベースバーが直角に交差する事を確認してください。(※1)(※2)

⑤ 左右のレールフレーム(サイドレール)の両側にレール用ナット(8個)を4個ずつ移動させます。(※2)

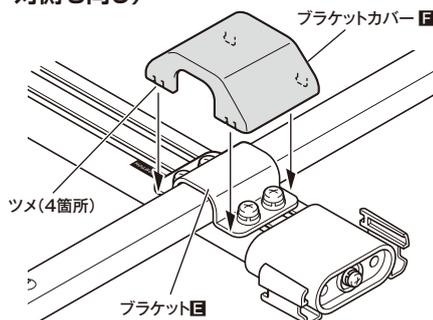


③ の続き



- ⑥位置を決めたレールフレーム(サイドレール)にブラケットをかぶせ、ネジ穴(4箇所)が合うようにレール用ナットの位置を合わせます。(反対側も同じ)
 ブラケットとネジ穴を合わせたレール用ナット(4箇所)をレール用小ネジでレールフレームが動く程度にプラスドライバーを使い、ゆるく締めて仮固定します。(反対側も同じ)

- ⑦ポジションシールの端がブラケットの端に合うようにレールフレームの位置を調整します。位置を合わせたらレール用小ネジ(4箇所)をしっかりと締めて固定します。(反対側も同じ)

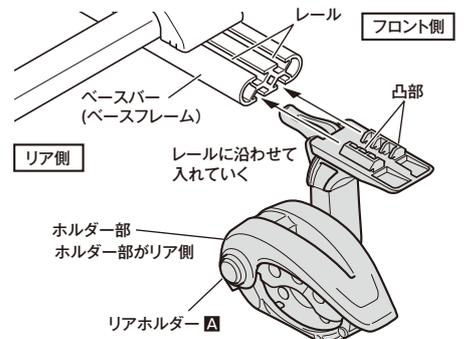
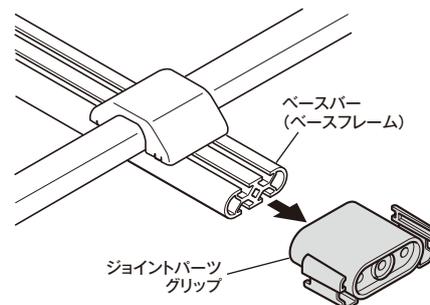
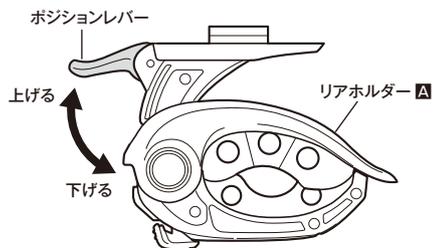


- ⑧ブラケットカバーをブラケットにパチンとツメ(4箇所)が掛かるまでかぶせます。(反対側も同じ)

- ⑩ベースフレームの完成です。

※ツメがしっかりと掛かっているか確認してください。
 ※ブラケットカバーをはずす際は、マイナスドライバー等をツメのすき間に挿し込み、はずしてください。

④ リアホルダーをベースバー(ベースフレーム)のレールに取り付けます。



ポジションレバー

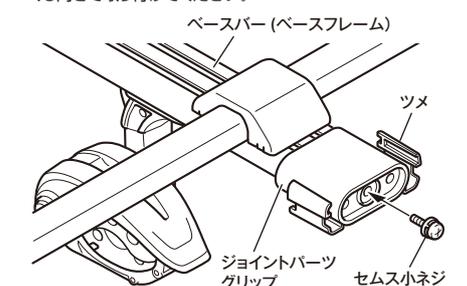
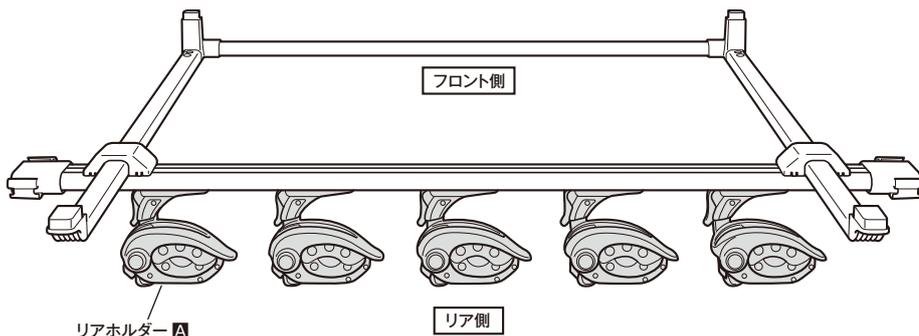
上げる：レール内位置移動可能 下げる：位置固定

- ①リアホルダーのポジションレバーを上上げて、ベースバーのレール内を移動できるようにします。

- ②4.ロッドホルダーベース組立方法③-③の工程でネジ留めしていない側のジョイントパーツグリップをベースバー(ベースフレーム)から取りはずします。

- ③5個のリアホルダーの凸部にベースバーのレールに沿わせて、挿し込んでいきます。

※リアホルダーには向きがあります。必ずリア側にホルダー部がくる向きで取り付けてください。

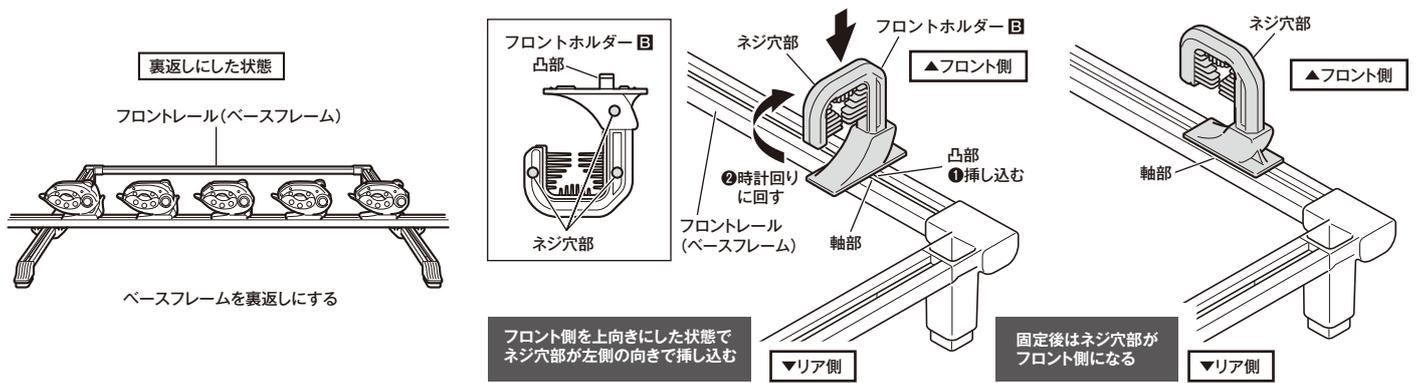


- ④5個のリアホルダーをベースバーのレール上に取り付けてください。

- ⑤ベースバー(ベースフレーム)にジョイントパーツグリップをはめ込み、セムス小ネジをプラスドライバーで締めて、しっかりと固定します。

※ツメの向きが上側(天井側)になるように固定してください。

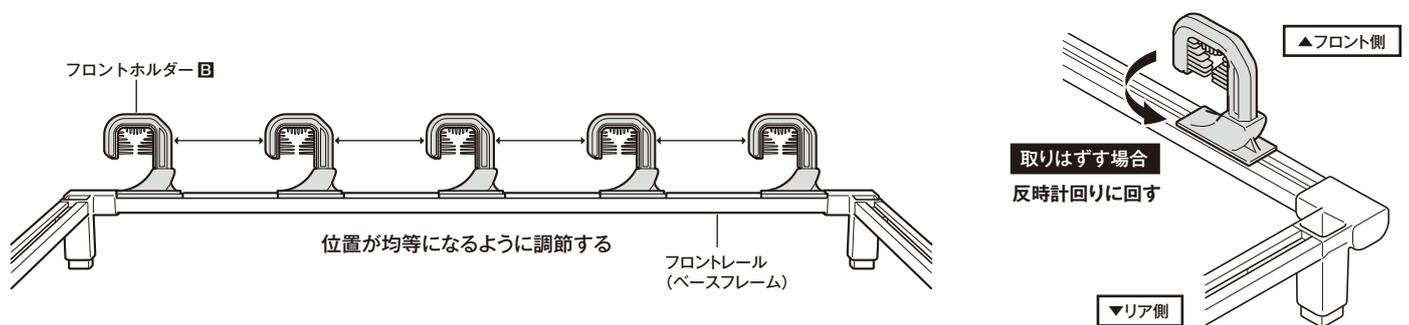
⑤ フロントホルダー③をフロントレール(ベースフレーム)に取り付けます。



①リアホルダー④を取り付けたベースフレームを裏返しにし、フロントレールにフロントホルダー③を取り付けます。

②ベースフレームを裏返した状態でフロントホルダー③の凸部を写真のようにフロントレールに挿し込み、時計回りに90°回転させると、位置が決まり固定されます。

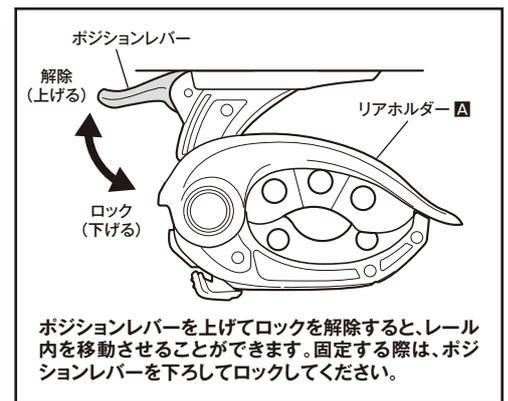
⚠️ ・フロントホルダーの取り付けには向きがあります。反対側に回してしまうと破損するおそれがありますので、必ず取付向きと回転方向を確認して取り付けてください。
 注意 ・フロントホルダーの脱着の際、必ず軸部を持って回してください。



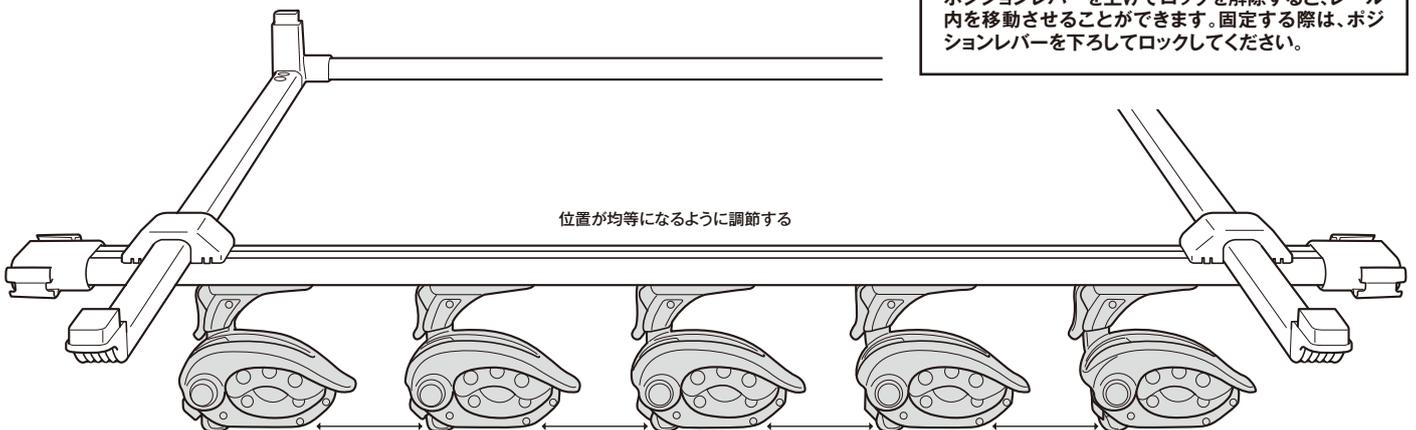
③5個のフロントホルダー③どうしの間隔がそれぞれ均等になるようにフロントレール上に取り付けてください。位置をずらす際は、フロントホルダー③を②と反対の方向(反時計回り)に90°回転させてはずし、好みの位置に再度取り付けてください。

⚠️ ・フロントホルダーの取り付け・取りはずしには向きがあります。反対側に回してしまうと破損するおそれがありますので、回転方向を確認してください。
 注意

⑥ 5個のリアホルダー④どうしの間隔がそれぞれ均等になるように位置調節をし、ポジションレバーを下ろして位置を固定してください。ロッドホルダーベースの完成です。



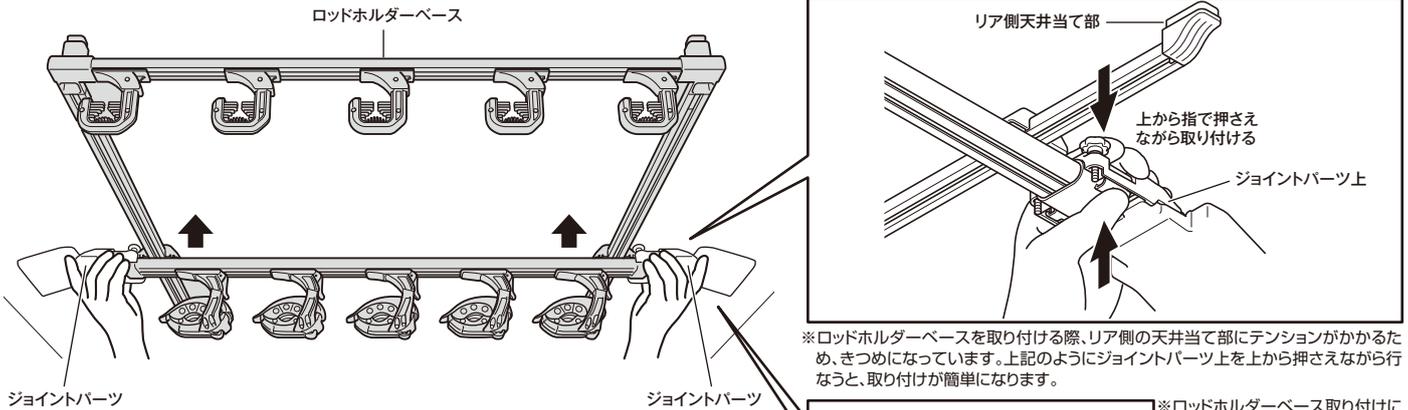
ポジションレバーを上げてロックを解除すると、レール内を移動させることができます。固定する際は、ポジションレバーを下ろしてロックしてください。



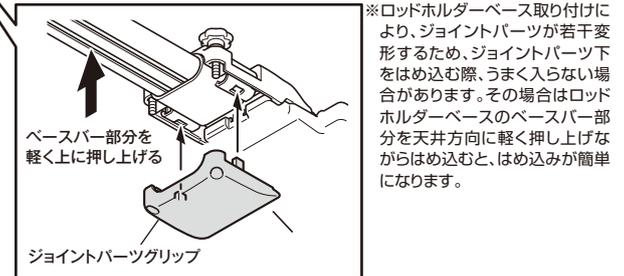
ロッドホルダーベース完成

5. 車両側ジョイントパーツへのロッドホルダーベース取付方法

ロッドホルダーベースを車両へ取り付けます。(別紙ベースバー取扱説明書[5.ベースバー脱着方法]参照)



※ロッドホルダーベースを取り付ける際、リア側の天井当て部にテンションがかかるため、きつめになっています。上記のようにジョイントパーツ上を上から押さえながら行なうと、取り付けが簡単になります。



※ロッドホルダーベース取り付けにより、ジョイントパーツが若干変形するため、ジョイントパーツ下をはめ込む際、うまく入らない場合があります。その場合はロッドホルダーベースのベースバー部分を天井方向に軽く押し上げながらはめ込むと、はめ込みが簡単になります。

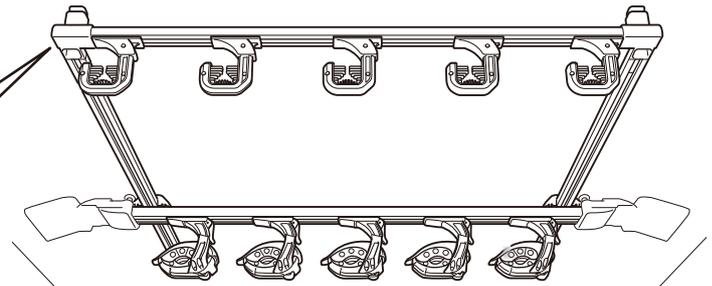
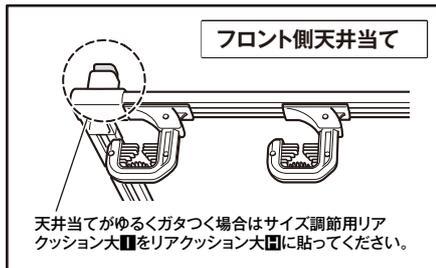
①ベースバーの取り付けと同じようにロッドホルダーベースを車両側のジョイントパーツに取り付けます。

- 注意**
- ・ロッドホルダーベースを落とさないように注意してください。
 - ・手や指を挟まないように注意してください。

②ロッドホルダーの取付完了です。

- 注意**
- ・フロント側の天井当てが弱く、ロッドホルダーベースがガタつく場合はサイズ調節用リアクッション大IIをリアクッション大IIに合わせて貼り付けてガタつかないように調節してください。4.ロッドホルダーベース組立方法1①-③参照。

ロッドホルダーベース取付完了



6. フロントホルダー・リアホルダーの積載位置・使用方法

ホルダーへのロッド積載位置

フロントホルダー

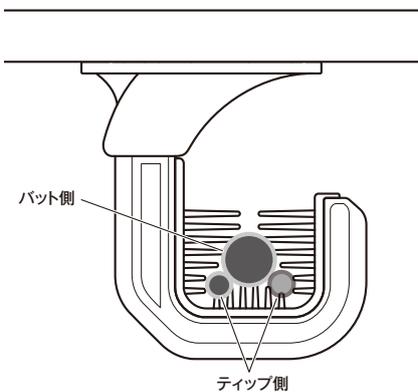
ロッド積載可能直径

ティップ側: 7mm バット側: 14mmまで

リアホルダー

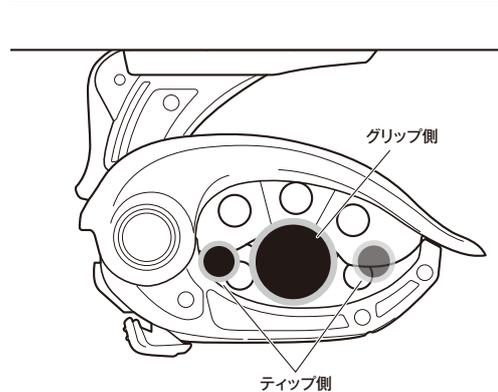
ロッド積載可能直径

ティップ側: 14mm グリップ側: 32mmまで



上記のような積載位置がフロントホルダー側のロッドの標準位置です。

- 注意**
- ・ティップ側は破損しやすいので、取り扱いには注意してください。
 - ・ロッドを収納する際に、ロッドに傷が付くおそれがありますので注意してください。

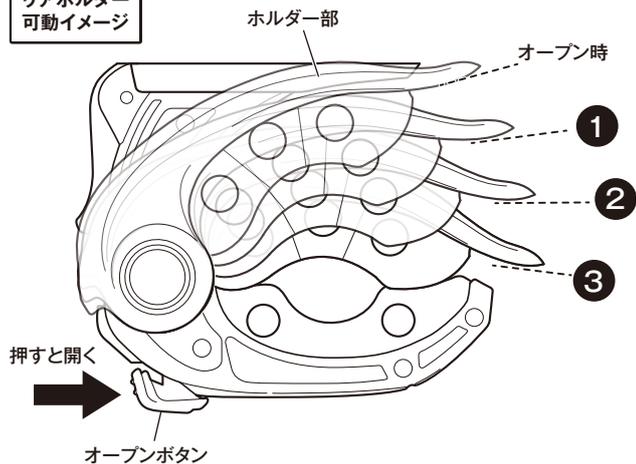


上記のような積載位置がリアホルダー側のロッドの標準位置です。

- ※ティップ側はフロントホルダーに置いた側と同じ側でホールドしてください。(ロッドが交差ししないようにしてください。)
- ※ティップ側を向かって右側にホールドする際は、ロッドの太さによっては、ホールドできない場合があります。しっかりとホールドできる位置でホールドしてください。

リアホルダーの使用方法

リアホルダー
可動イメージ



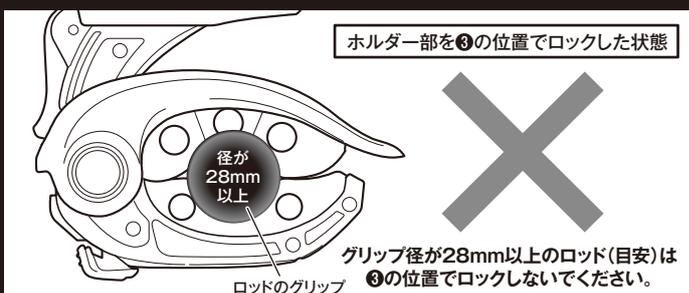
- ① オープンボタンを押すとホルダー部がオープン時の場所まで自動で開きます。

注意 ・ホルダー部を開く際は、必ずオープンボタンを押して開いてください。オープンボタンを押さずに無理な力でホルダー部を開くと破損・故障します。

- ② ホルダー部を手で下に閉じると、3つの位置(①・②・③)でロックします。右記「**ロッドホールド時の注意**」を確認し、ロッドのグリップ径に合わせたホルダー部のロック位置でホールドしてください。

⚠️ ロッドホールド時の注意

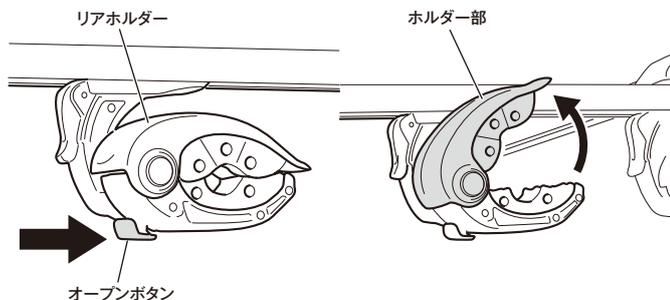
- ・ホルダー部を閉じて、ロッドのグリップに上部クッションが当たる状態のロック位置でホールドしてください。
- ・ホルダー部に無理な力が加わるような状態でロックをしないでください。ホルダー部の破損・故障やロッドのグリップに跡が残ったりします。目安としてグリップ径28mm以上のロッドは①・②のロック位置でホールドしてください。左記「**リアホルダー可動イメージ**」参照



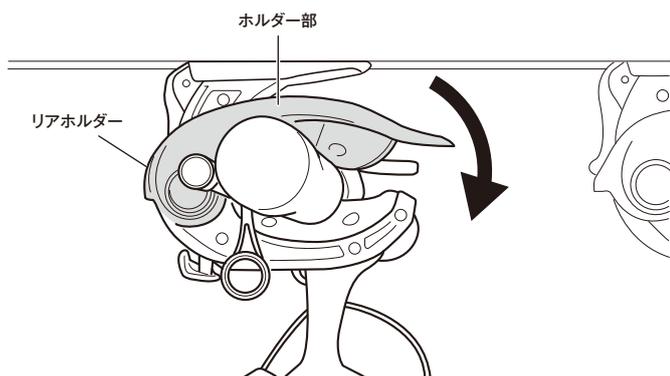
7. ロッドの積載方法

ロッドをフロント側→リア側の順番で積載します。

※2ピースのロッドをホールドする際は、必ず前後にロッドベルトを巻いた状態でホールドしてください。

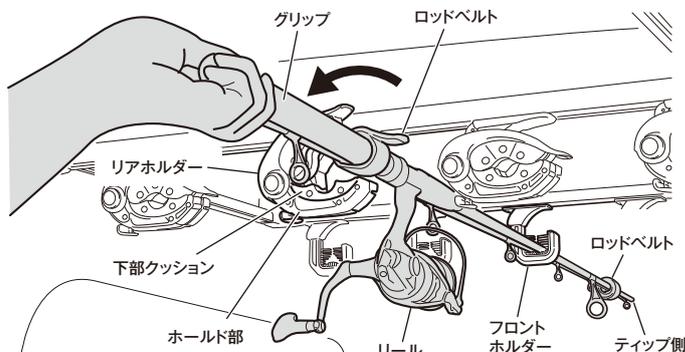


- ① リアホルダーのオープンボタンを押し、ホルダー部を開きます。



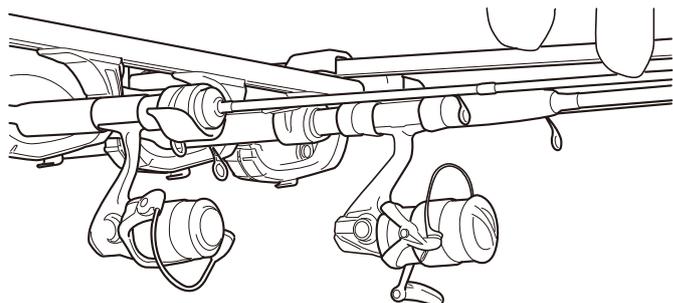
- ③ リアホルダーのホルダー部をロッドの径に合わせて閉じます。

注意 ・上記リアホルダーの使用方法「**ロッドホールド時の注意**」を確認しホールドしてください。



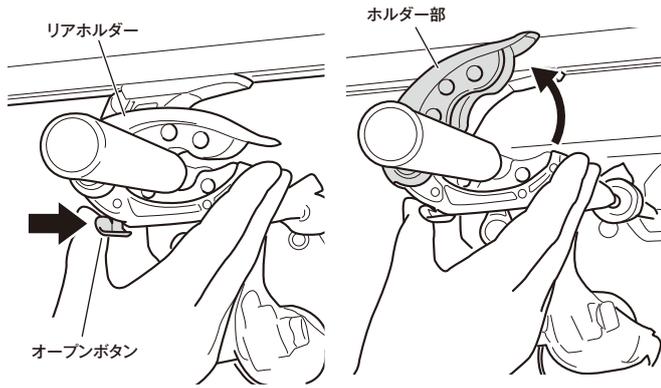
- ② ロッドを持ちティップ側をフロントホルダーに入れ、ロッドのグリップをリアホルダーの下部クッションに置きます。

注意 ・ロッドをホールドする際、必ずリアホルダーのホールド部より前にリールがかかるように置いてください。

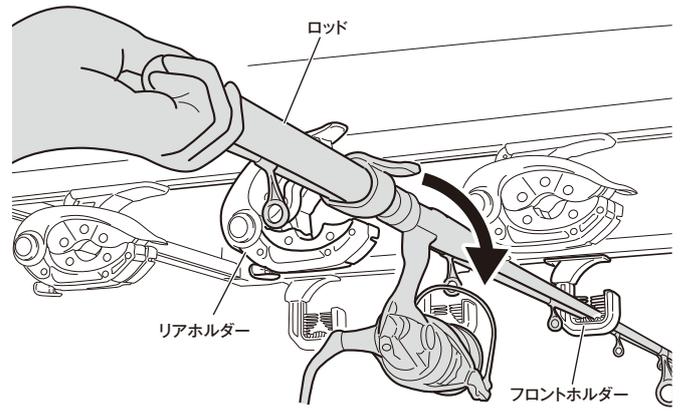


- ④ リールどうしが接触する場合は、リールを前後に互い違いに積載してください。

ロッドの取り出し方法



①リアホルダーのオープンボタンを押し、ホルダー部を開きます。



②ロッドを持ちリアホルダーから降ろしてから、ティップ側をフロントホルダーからはずしてください。

8. お手入れ方法

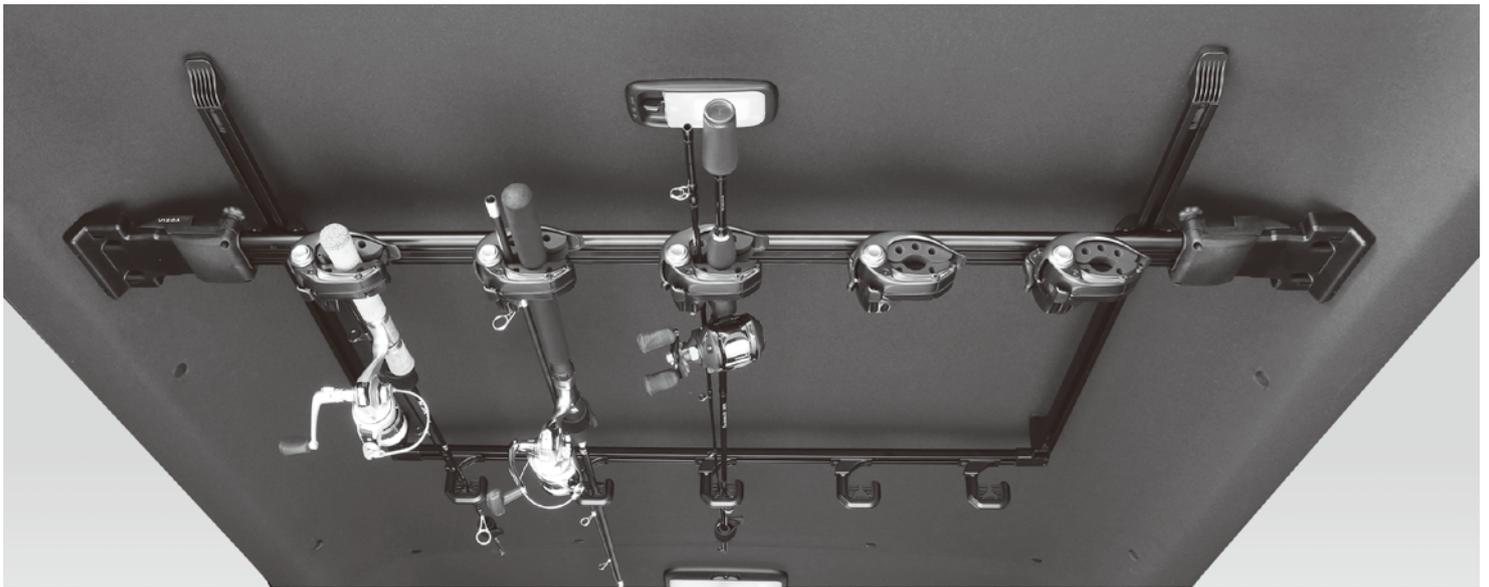
・本製品が汚れた場合は、水を含ませて固く絞った布で拭いてください。



- ・ベンジン・シンナー・アルコール・塩素系の溶剤類を使用してお手入れはおやめください。
- ・ロッドホルダーベース装着時のガタつきが強くなった場合は、予備のフロントクッション小□・リアクッション大□に貼り替えてください。

注意

ロッド積載完了イメージ



※写真はイメージです。

警告 ご使用前に必ずお読みください。

●走行前に必ず、各固定箇所のゆるみ等がないか確認してください。●ロッド以外の物を積載しないでください。●走行中、安全のため絶対に本製品の脱着等はしないでください。

注意 ご使用前に必ずお読みください。

●用途以外の目的で使用しないでください。●本製品は金属を使用していますので、炎天下の車内の熱等により、金属部分が熱くなる場合があります。●リアゲートを閉める際は、ロッド等が当たらないように注意してください。●急発進・急ブレーキ・急ハンドル時は本製品のズレやロッドの脱落等をおこす場合があります。●急カーブ・悪路・段差の激しい路上を走行する際には、ロッドを本製品からはずしてください。●本製品にぶら下がったり、無理な力を加えたり、強い衝撃を与えないでください。●フロントレールに物を掛けたり力を加えたりしないでください。●振動により、本製品やロッドがズレたり、固定がゆるむ場合があります。乗車の度により本製品の固定・ロッドのホールドがされているか確認してください。●車から離れる際には、ロッドを長時間放置しないでください。本製品やロッドが変形・損傷するおそれがあります。●本製品を取り付けた状態で長時間放置しないでください。車内の天井等が変形・損傷するおそれがあります。未使用時は車両からロッドホルダーベースを取りはずして保管してください。●本製品には鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。●使用状況や経年変化等により本製品に変色・変形・劣化等が発生する場合があります。



梶屋 YAC 株式会社

〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地
TEL 0564-24-2421・FAX 0564-24-2827
URL <https://www.yacjp.co.jp>

商品に関するお問い合わせ先

▶お客様相談室 0564-66-0773(直通)

土日祝・特定日除く 9:30~12:00/13:00~17:30